

電子リソース利用の際のブラウザの「リンク先読み機能」停止のお願い

Web ブラウザの「リンク先読み機能」により、バックグラウンドでリンク先のページ読み込みが繰り返されることで、電子ジャーナルや電子ブック、データベースなどの電子リソースが意図せずに大量アクセス/大量ダウンロードされてしまうケースが報告されています。

電子リソースに短時間で大量にアクセスする行為は契約違反とみなされ、提供元からアクセスを遮断される恐れがあります。

電子リソースご利用の際は、お手数ですが、以下の設定変更例などによりこの機能を無効にするようお願いいたします。

<Microsoft Edge>

- ⇒ 「設定」 ⇒ 「Cookie とサイトのアクセス許可」を選択
- ⇒ 「Cookie とサイトデータの管理と削除」を開く
- ⇒ 「ページをプリロードして閲覧と検索を高速化する」をオフにする

<Google Chrome>

- ⇒ 「設定」 ⇒ 「プライバシーとセキュリティ」を選択 ⇒ 「Cookie と他のサイトデータ」を開く
- ⇒ 「ページをプリロードする」を開く ⇒ 「プリロードなし」を選択する

<Safari(Mac)>

- ⇒ メニューバーの「Safari」 ⇒ 「環境設定」(または「設定」)を開く
- ⇒ 「検索」タブの「バックグラウンドでトップヒットを事前に読み込む」のチェックをはずす

<Safari(iOS, iPadOS)>

- ⇒ 「設定」 ⇒ 「Safari」 ⇒ **【検索】**「トップヒットを事前に読み込む」をオフにする

<FireFox>

- ⇒ URL 欄に「about:config」と入力して Enter キーを押す
- ⇒ 「動作保証対象外になります!」という警告ページが表示された場合は、「危険性を承知の上で使用する」をクリック
- ⇒ コンフィグ画面「network.prefetch-next」を検索して表示 ⇒ ダブルクリックで「false」にする

※ 「リンク先読み機能」によるアクセスのほか、以下の行為なども大量ダウンロードとなります。

- ・ ソフトウェアやツールなどを使ってダウンロードする。
- ・ ツールなどは使用していないが、短時間で集中的に多くの論文などをダウンロードする。

※ 電子リソース利用の際は、大量ダウンロード以外にも以下の事項などが禁止されています。

- ・ 複製や改変、再配付、転売
- ・ 個人の研究・教育・学習以外の利用
- ・ その他、著作権の侵害

違反があった場合は、故意・過失を問わず、大学全体として利用が停止される場合もありますので、ご注意ください。

以上